

【収支の明細書の記載方法】

収支の明細書は、猶予を受けようとする金額が100万円を超える場合に、「徴収猶予申請書」又は「換価の猶予申請書」に添付して提出する必要があります。

収 支 の 明 細 書

令和 3 年 3 月 1 日

1 住所・氏名等

住 所 所在地	北九州市〇〇区〇〇1丁目〇-〇	氏 名 名 称	株式会社〇〇〇〇 代表取締役 北九太郎
------------	-----------------	------------	------------------------

2 直前2年間に於ける各月の収入及び支出の状況

年 月	① 総収入金額	② 総支出金額	③ 差額 (① - ②)	備 考
○年 6月	3,640,000 円	3,524,000 円	116,000 円	
○年 7月	3,535,000 円	2,906,400 円	628,600 円	
○年 8月	3,430,000 円	3,280,000 円	150,000 円	
○年 9月	3,780,000 円	3,420,000 円	360,000 円	
○年 10月	3,570,000 円	3,336,000 円	234,000 円	
○年 11月	3,430,000 円	3,436,000 円	▲ 6,000 円	
○年 12月	3,290,000 円	3,224,000 円	66,000 円	
△年 1月	3,080,000 円	3,376,000 円	▲ 296,000 円	
△年 2月	2,730,000 円	2,560,000 円	170,000 円	
△年 3月	3,465,000 円	3,296,000 円	169,000 円	
△年 4月	3,395,000 円	3,098,400 円	296,600 円	
△年 5月	3,233,000 円	3,233,000 円	▲ 20,000 円	

申請書を提出する日の直前2年間に於ける各月ごとの「①総収入金額」「②総支出金額」「③差額」を記載してください。
また、「③差額」の金額がマイナスの時は、金額の前に▲をつけます。
なお、臨時収入や支出があった月については、備考欄にその理由を記載してください。

年 月	① 総収入金額	② 総支出金額	③ 差額 (① - ②)	備 考
□年 6月	5,200,000 円	4,405,000 円	795,000 円	
□年 7月	5,050,000 円	4,152,000 円	898,000 円	
□年 8月	4,900,000 円	4,100,000 円	800,000 円	
□年 9月	5,400,000 円	4,275,000 円	1,125,000 円	
□年 10月	5,100,000 円	4,170,000 円	930,000 円	
□年 11月	4,900,000 円	4,295,000 円	605,000 円	
□年 12月	4,700,000 円	4,030,000 円	670,000 円	
○年 1月	4,400,000 円	4,220,000 円	180,000 円	
○年 2月	3,900,000 円	3,200,000 円	700,000 円	
○年 3月	4,950,000 円	4,120,000 円	830,000 円	
○年 4月	4,850,000 円	3,873,000 円	977,000 円	
○年 5月	4,250,000 円	3,270,000 円	980,000 円	

3 今後の平均的な収入及び支出の見込金額(月額)

区 分	見込金額	区 分	見込金額
収 入	売上	仕入	1,300,000 円
		給与	850,000 円
		役員給与	650,000 円
		借入金返済	450,000 円
		社会保険料等(健康保険、厚生年金)	202,000 円
		諸経費	348,000 円
			円
		円	
		円	
① 収入合計	4,600,000 円	② 支出合計	3,800,000 円
③ 納付可能基準額(①-②)(A)	800,000 円	※(A)は、裏面7①「納付可能基準額」欄へ転記	

猶予期間中における月単位の平均的な収入および支出の見込み金額を、税込み金額で記載してください。

【備考】

臨時収入欄：資産の売却、新規借入れや貸付金の回収等による臨時的な収入が見込まれる場合は記載してください。

4 今後1年以内における臨時的な収入及び支出の見込金額

	内 容	年 月	金 額
臨時収入	A株式会社への貸付金の回収	令和 △ 年 12 月	200,000 円
		令和 △ 年 月	円
		令和 △ 年 月	円
		令和 △ 年 月	円
臨時支出	機械の老朽化による新規購入費用 工場施設内の電気設備の定期点検費用	令和 △ 年 6 月	450,000 円
		令和 △ 年 12 月	200,000 円
		令和 △ 年 月	円
		令和 △ 年 月	円

臨時支出欄：事業継続のためにやむを得ない設備の購入等による臨時的な支出が見込まれる場合に記載してください。

「7分割納付年月日及び分割納付金額」の「③臨時的入出金額」欄に転記してください。

5 今後1年以内に納付すべきことが見込まれる国税及び地方税等 (B) ※(B)は、下記7⑤「納付額」欄へ転記

年 月	税 目	金 額	年 月	税 目	金 額
令和 △ 年 6 月	固定資産税	50,000 円	令和 ○ 年 1 月	源泉所得税	120,000 円
令和 △ 年 7 月	源泉所得税	120,000 円	令和 ○ 年 1 月	固定資産税	50,000 円
令和 △ 年 9 月	固定資産税	50,000 円	令和 ○ 年 3 月	固定資産税	50,000 円
令和 △ 年 11 月	消費税	1,740,000 円	令和 ○ 年 5 月	消費税	1,740,000 円

今後1年以内に納付すべきことが見込まれる、国税・地方税・社会保険料等について、納付すべき年月、科目及び金額を記載してください。
 ※月ごとに納付する源泉所得税や社会保険料などは「3 今後の平均的な収入及び支出の見込金額(月額)」欄に記載します。
 ※「7分割納付年月日及び分割納付金額」の「市税等」の「⑤納付額」欄に転記してください。

法人の場合：すべての役員について、役職・氏名・生年月日・報酬月額及び所有財産等を記載してください。（報酬額は、源泉徴収する所得税等を控除する前の金額を記載してください。）
 個人の場合：生計を一にする親族について、続柄・氏名・生年月日・収入金額・職業及び所有財産等を記載してください。

6 家族(役員)の状況

続柄 (役職)	氏名	生年月日	収入・報酬(月額) (専従者給与を含む)	職業・所有財産等
代表者	北九 太郎	昭和〇年〇月〇日	350,000 円	
取締役	小倉 次郎	昭和△年△月△日	300,000 円	
		年 月 日	円	
		年 月 日	円	

7 分割納付年月日及び分割納付金額

納付年月日 (C)	①納付可能基準額	②季節変動等に伴う増減額	③臨時の入出金額	市税等		④分割納付金額(D) (①-②+③-④-⑤)
				④積立額	⑤納付額	
令和〇年 6 月 末 日	800,000 円	200,000 円	▲ 450,000 円	円	50,000 円	500,000 円
令和〇年 7 月 末 日	800,000 円	円	円	円	120,000 円	680,000 円
令和〇年 8 月 末 日	800,000 円	円	円	円	円	800,000 円
令和〇年 9 月 末 日	800,000 円	200,000 円	円	円	50,000 円	950,000 円
令和〇年 10 月 末 日	800,000 円	円	円	円	円	800,000 円
令和〇年 11 月 末 日	800,000 円	▲ 200,000 円	円	円	1,740,000 円	▲ 1,140,000 円
令和〇年 12 月 末 日	800,000 円	▲ 200,000 円	200,000 円	円	円	800,000 円
令和△年 1 月 末 日	800,000 円	▲ 200,000 円	円	円	170,000 円	430,000 円
令和△年 2 月 末 日	800,000 円	▲ 200,000 円	▲ 200,000 円	円	円	400,000 円
令和△年 3 月 末 日	800,000 円	円	円	円	50,000 円	750,000 円
令和 年 月 日	円	円	円	円	円	0 円
令和 年 月 日	円	円	円	円	円	0 円

※③欄は、上記4「今後1年以内における臨時的な収入及び支出の見込金額」欄を基に、納付年月における臨時の入出金額の合計額を記載
 ※(C)及び(D)は、申請書⑤「納付計画」欄へ転記

「3 今後の平均的な収入及び支出の見込金額(月額)」の③の金額を転記してください。